

光村ポケット

中学校 国語

「語彙力」を育てる
光村の姿勢



語彙力は、全ての学び、そして日常生活を支える土台です。だからこそ、光村は小・中9年間を通して、語彙に関する教材や資料を充実させています。

軽井沢風越学園教諭
光村図書編集委員
甲斐利恵子先生



光村図書



LINE公式アカウント友だち募集中!

授業づくりに役立つ情報を、いち早くお届けします。



【教授用資料】 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

小・中 9 年間で語彙力を積み上げる ―― 光村の語彙指導 三つのポイント

読解

文脈の中で、言葉を学ぶ

語彙の学習では、場面や状況、文脈の中に息づく生きた言葉を、**用例や語感ごと**に**身体に吸収する**ことが重要です。文脈の中で言葉を学ぶことで、**言葉の理解**が深まり、さらに、**言葉を通して読みも深まります。**

走れメロス

メロスは激怒した。必ず、かの邪知暴虐の王を除かなければならぬと決意した。メロスには政治がわからぬ。メロスは、村の牧人である。笛を吹き、羊と遊てきた。けれども邪悪に対しては敏感であつた。

言の葉ポケット

この作品には、「激怒」「邪悪」「歓喜」などの漢語が多く使われている。和語に置き換え、印象の違いを考えてみよう。

中学校「国語」2年

やまなし

小さな谷川の底を写した、二枚の青い幻灯です。

一 五月

二ひきのかにの子どもらが、青白い水の底で話していました。

「グラムポンは笑ったよ。」

「グラムポンはかぶかぶ笑ったよ。」

言葉に着目しよう（手引き）

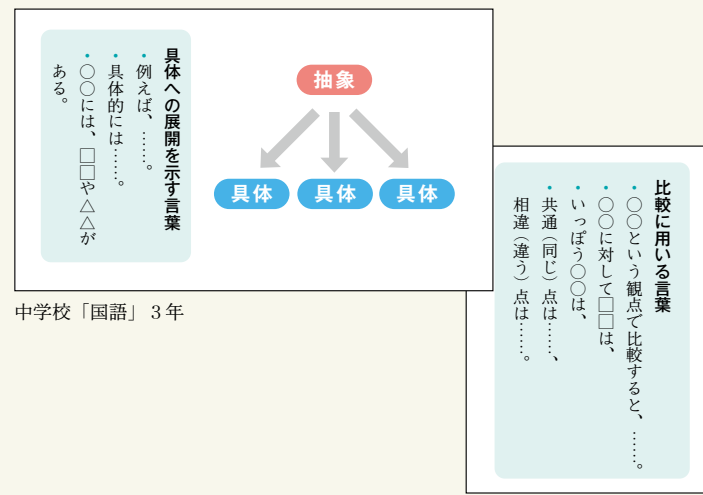
作者の独特な表現に着目すると、場面の様子が豊かに想像できる。……

小学校「国語」6年

思考

言葉が、思考を連れてくる

小・中を通して、文型や思考法を示し、**言葉と思考を関連づけて学ぶ場**を設けています。「根拠」「抽象」などの概念や、「つまり」「例えば」などの言葉を使えるようになれば、自ずと生徒の**思考力も高まります**。



中学校「国語」3年

中学校「国語」1年

表現

「知っている」言葉から「使える」言葉へ

表現を通して言葉を獲得できるよう、文型や語型、関連語句を豊富に紹介しています。言い換えたり、類義語と比較したり、より適切な言葉を求め試行錯誤することで、「使える」言葉が増えていきます。



中学校「国語」2年

中学校「国語」1年

 言葉のたから箱

 言葉のたから箱	 人物を表す言葉	 物や事からの様子
 自分勝手  心が広い  おさない  そそっかしい  注意深い  がんばり  たよりない  いさましい  たのもし  たよりない  がんばり 注意深い そそっかしい おさない 心が広い 自分勝手	 がんばり  注意深い  そそっかしい  おさない  心が広い  自分勝手	 がんばり  注意深い  そそっかしい  おさない  心が広い  自分勝手

小学校「国語」3年下



子供の話を聞いていると、
「ヤバい」「ウザい」ばかりで……。

[保護者]



自分の気持ちを、言葉で
伝えられる子が減ってきて
いるようで心配。

〔学校の先生〕

今こそ、語彙指導の充実を

確かな語彙力を育てることは、子供たちの読解力を伸ばすことにつながります。例えば、作品の登場人物が「悲しい」「怒っている」と感じていることを理解するには、「悲しい」「怒っている」という気持ちのボキャブラリーが必要です。言葉をもつことで、私たちは他者の気持ちをもより深く、より正確に理解できるようになります。

また、それについて自分は「かわいそう」「いたたまれない」気持ちになっていると気づくためには、自分の気持ちを言葉に置き換える力が求められます。つまり、自分の気持ちを理解するためには、自分の中から、気持ちにぴったりの言葉を取り出す力が要るのです。

こうした力は、自分の怒りや悲しみの気持ちをコントロールする力にもつながっていきます。読解力のためだけでなく、子供たちが社会の中でよりよく生きていくためにも、日頃から気持ちのポキャブラリーを増やしておく必要があるのです。

法政大学教授（発達心理学）
渡辺弥生

3
年

2年

1
年

6年

5年

4 年

3
年

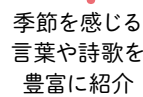
2
年

1
年

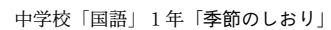
中学校

小学校

言葉で季節を味わう



小学校「国語」3年上「きせつの言葉」



中学校「国語」3年 見返し裏